



育種時間を大幅に短縮

DNA マーカー育種研究

技術分野分類 7103：応用生物化学

技術キーワード (13) 遺伝子発現

産業分類 AO11：耕種農業

内 容	概 要	DNA マーカー育種は、作物や家畜の品種改良を効率化する手法です。DNA マーカーを利用して、導入したい有用形質（例：病害抵抗性や収量性）の有無を迅速に特定します。これにより、従来の育種法に比べて時間と労力の削減、栽培面積の縮減が期待され、新品種育成を大幅に効率化できます。 参照： https://www.werc.or.jp/outline/soshiki/kenkyu/leaflets/PDF/6.pdf
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来の育種選抜法では形質を目視や生育試験で評価するため、多くの時間と労力が必要ですが、DNA マーカー育種では目的の形質に関連する遺伝子情報を解析するため、目的形質が発現しない段階でも選抜が可能です。また、環境条件の影響を受けにくく、再現性が高い点も利点です。このように、コスト削減と時間短縮を両立しつつ、高精度な選抜が可能です。
	本技術の有用性	個別のニーズに合わせて、DNA マーカーを作成します。
関連情報 （図・表・写真等）		 <p>DNA 多型の検出と STS 化 DNA マーカーの作成</p>
適用可能製品		農作物の品種改良、F1 検定、品種同定など。
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	田中 良和 研究開発部 生物資源研究室 主幹研究員
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	企画支援広報部 技術相談窓口 0770-24-7273/0770-24-7275 soudan@werc.or.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2025 年 1 月 14 日